

藤和けんこう通信



2012年12月号 VOL.26

新しい職員さんが入社しました！

発行元：藤和マッサージ（訪問マッサージ・はりきゅう）

小田急相模原駅徒歩6分 神奈川県相模原市南区南台4-13-23 TEL 042-855-0420

マッサージの体験をしてもらいました！！

11月24日（土）にお世話になっている、ニチイケアセンター御園にてお祭りが開かれました。当院は健康チェックテスト及び体験マッサージ会をやらせて頂きました。健康テストでは、バランス平衡感覚や足踏みテスト、落下棒テストによる反射時間、握力などを計測しました。年齢相応の目安値があり、年齢相応かどうかで、皆さん一喜一憂でした。



日頃の運動不足を実感している方々が沢山いらっしゃいました。また、途中で職員さん手作りの温かくておいしい豚汁を頂きました～。ありがとうございました。



健康チェックテスト実施！ 日頃の運動不足を実感！

新しい職員さんが入社しました！！

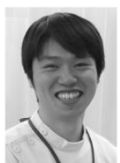


近藤 マチ子
(こんどうまちこ)

患者様・外部関係者様との連携・相談を担います

明るく、元気がモットーの2児の母、42歳です！！ちょっと、おっちょこちょいな面がありますが、何事もポジティブ志向で、患者様のお役にたてるように一生懸命頑張りますので、宜しくお願い致します。人が大好きです！

ベテランから女性まで幅広いスタッフが揃っています！！



須藤 新



石黒 一星



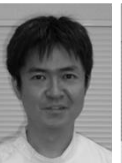
添田 真理子



板垣 鋭司



榎本多佳子



松本勝則



牧口隆一



河内 宣夫



石井 旭



近藤マチ子



若井清美

新『名医』の最新治療2013 (朝日新聞出版)

を読んで。

感想・気になったところ

・同じ病気でも、治療方法は一つではない。複数の選択肢の中から、医師と相談の上、患者さん自身が治療方法を決める

例えば、

膝の前十字靭帯断裂になってしまった場合

スポーツをしている方が復帰を目指して、患者の体から腱を採取し移植する靭帯再建術を行う場合、その方法はおもに2種類ある

①ハムストリングの筋肉にある腱を採取し、再建術を行う場合

術後の痛みが比較的少ない 術後膝がやや緩む傾向がある 新体操など膝を深く屈曲する動作の時に力を出しにくい

②膝蓋腱を採取し、再建術を行う場合

また、まったくスポーツをしていない方や高齢者の場合は、手術せずに保存的療法を行うことが多い。(早稲田大学 スポーツ科学学術院 福林徹医師)

腰部脊柱管狭窄症

・受診される患者さんで、手術が必要と判断される症例は半分以下で、残りは生活指導(ベッドやマクラ、イス、机の見直しなど)や運動療法や薬物療法を試みる(関東労災病院・夏山元伸医師)

・狭窄があるからといって、症状がでるとは限らない。

手術をする事で、症状が改善されるが、8割くらいの患者さんに痺れなどの症状は残る場合が多い。(同上)

・この病気は、がんや心臓病などのように急激に悪なったり、命にかかわることはありません。患者さんの2分の1~3分の1は手術せずに良くなります。

『一刻を争う』、『すぐに手術を』ということは、ほとんどありません。膀胱直腸障害がある場合などは、手術をお勧めする。(千葉大学病院 高橋和久医師)

・病院や医師によって、大きく治療方法が異なることがある。

腰部脊柱管狭窄症で内視鏡や顕微鏡を使った手術が多く施設で行われていますが、『狭窄部分をすべて治す』のか、『症状が強いところを治すだけでいい』のかは専門医の間でも意見が分かれています。(同上)

年末年始 ～お休みのお知らせ～



2012年 12月30日(日)～2013年1月4日(金)

まで年末年始のお休みとさせていただきます。

※年始は1月5日(土)から営業致します。



慢性疲労症候群のメカニズム解明

(2012年12月13日 読売新聞)

「原因不明の激しい疲労や倦怠けんたい感が半年以上続く慢性疲労症候群（CFS）について、浜松医科大学などの研究グループは、認知機能にかかわる神経伝達物質受容体を攻撃する「自己抗体」が患者の血中で生成されて脳内に入り込み、機能を低下させるメカニズムを解明した。研究は、同社の陽電子放射断層撮影（PET）を使い、理化学研究所分子イメージング科学研究センター（神戸市）、関西福祉科学大も加わって行った。

CFSは、感染症や過度のストレスなど複合的な要因から、免疫系などに異常が生じ、脳神経系が機能障害に陥ると考えられている。同グループは、CFS患者の約半数で、神経伝達物質受容体（mAChR）に反応して攻撃する自己抗体が血中に検出されている例があることに着目。人間の脳は、一般に脳血管から脳神経細胞に有害物質が入り込まない仕組みになっている。同グループは今回の研究で、CFS患者の血中では、免疫系の異常により自己抗体が作られて脳内に入り込み、神経伝達機能に直接影響を及ぼすという可能性が示唆されたとしている。

介護ベッド事故 周知強化 在宅介護者4割「知らない」

(2012年12月3日 読売新聞)

介護ベッドの事故が多発している問題で、消費者庁が在宅介護者を対象に調査したところ、42%は事故が相次いでいることを知らないことがわかった。調査は、10月にインターネットを通じて実施。介護ベッドを利用し、自宅で介護をしている3578人から回答を得た。

その結果、介護ベッド事故の多発を知っていたのは58%。行政による注意喚起を知っていたのは44%にとどまった。また、注意喚起を知っている人の中でも、42%は対策を講じていなかった。あわせて行った病院や介護施設で働く人への調査でも、27%が事故の多発を知らず、39%が注意喚起を知らなかった。

介護ベッドを巡っては、手すりの隙間に首や手足を挟むなどして、死亡したり、大けがを負ったりする重大事故が続発している。メーカーに国への報告を義務づけた2007年度から今年10月末までに計63件発生し、そのうち32件が死亡事故。同庁や業界団体などが再三、安全具を用いて隙間をふさぐよう注意喚起をしたものの、功を奏していなかった。

飲酒から一夜 体内アルコールは？…

(2012年12月3日 読売新聞)

飲酒から一夜明け、アルコール分が体内に残っているかを調べる実験が1、2両日、岡山市北区奥田本町の交通安全機器開発販売会社「マイクロメイト岡山」営業本部で行われた。飲酒の機会が増える季節に、飲酒運転の危険性を訴えることが目的で、参加者15人のうち5人から、道交法で「酒気帯び」とされる呼気1リットルあたり0・15ミリ・グラム以上のアルコール分を検出した。

実験には20～62歳の大学生や会社員ら男性が参加。1日夜に好きなだけ飲み、飲酒30分後と8時間後に呼気検査などを行った。ビールを4リットル飲み、8時間後に0・65ミリ・グラムが検出された岡山市南区の会社員（25）は「こんなに残っているなんて。普段仕事で車を使うので、運転を控えたり、酒量を抑えたりするようにしたい」と驚いていた。同社は結果を来年度の日本交通心理学会で発表するとしている。

無料体験マッサージ、いつでもお気軽にどうぞ

【医療保険適応 訪問マッサージ・はりきゅう】

TOWA
藤和

藤和マッサージ TEL 042(855)0420

〒252-0314相模原市南区南台4-13-23（小田急相模原駅徒歩6分）